

農と文化のフィールドミュージアム

活動地域  新潟県十日町市

つづける助成

2年目

実践

来場者 **1,963人**

収穫体験参加者 **177人**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **80%**



生き物観察の様子

課題

他の中山間地と同様に過疎・高齢化が著しく、里山内の耕作放棄地も増大しており、集落のコミュニティ低下が大きな問題となっている。

目標

- ①耕作放棄地を開墾し、有機観光農園を創りだす
- ②旧来の植生や生き物が里山を彩る
- ③多くの来場者が実感・体感する

活動内容と成果

- 19品目を有機栽培、耕作面積を1,000m²増やし15.6aを達成
 - ①収穫体験参加者：177人
- 旧来の植生・絶滅危惧種の保護活動
 - ①カタクリ群生地整備：5回実施、新規面積100m²
 - ②ヤマユリ保護株数：5回実施、新規20株保護
 - ③絶滅危惧種保護活動：3回実施（卵塊保護・移動実施）
- アートと里山を楽しむフィールドミュージアム
 - ①7/22～11/29の期間で来場者：1,963人



園路に咲いたひまわり

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

- 新型コロナウイルスの影響による集客
- 業務の範囲が広く、それぞれの活動をバランスよく進めること

■工夫した点

新たな職員がどの活動においても活躍できるように、一つの活動に絞らず、様々な経験をしてもらったこと。



収穫した野菜

全助成期間の活動を振り返って

新型コロナウイルスの影響もあり、集客には苦戦した。職員の数に対して、日々の業務と助成活動の範囲が広く、未達成に終わった活動もあった。しかし、地元の方々の協力を得ながら、新人職員にも様々な活動に携わってもらい、経験を積んでもらった。

〒942-1526
新潟県十日町市松代3743-1 まつだい「農舞台」内
電話：025-595-6180
HP：<https://www.echigo-tsumari.jp/>



今後の展望

活動資金調達においては、現在もNPOで行っている棚田保全分野（まつだい棚田バンク）と合体させ、都市部住民・大学・企業などが出資し、応援できるような仕組みを構築する。今後はプログラムを再検討する、来場者以外の指標を加えるといった振り返りをいかして、里山保全・有機栽培には職員を増員し、管理運営を継続して行っていく。